

《担当者名》 村田 尋如(非) 三井 貴之(非)

【概要】

前期は、主に教育法の基礎的学習を、後期は模擬授業を中心とした実践的な学習を行う。

<前期> 高等学校公民科教員としての資質・能力を涵養し、公民科教育の意義を理解する。また、公民科教育の実践的な課題をとらえ、教材研究、授業についての方法を具体的に学ぶ。

<後期> 年間学習指導計画、授業デザインなどを踏まえた模擬授業や研究協議を通して、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付けるとともに、思考力、判断力、表現力を伸ばす指導方法や思考ツールの活用、評価の方法等、公民科に必要な教科指導法について実践的に学ぶ。

【学修目標】

<前期> 学習指導要領での公民科教育の位置づけについて理解する。それを実践的な授業で展開するために、指導案の書き方、教材研究、授業方法、授業技術などを身につける。

<後期> 思考ツールの活用方法やアクティブ・ラーニング型授業の進め方など、生徒が主体的・対話的で深い学びを実現するための手法等について理解を深め、具体的実践的模擬授業の実施と振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けるとともに、公民科教育の授業観・世界観に触れ、志の高い公民科教員としての資質を高める。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	公民科教育とは何か	公民科教育の歴史と学習指導要領での位置づけ	三井
2	公民科教育の意義	学習指導要領の理解	三井
3	公民科教育の現代的意義	高等学校教育における公民科教育の意味	三井
4	現代社会の意義	現代社会の内容と教科としての特質の理解	三井
5	倫理の意義	倫理の内容と教科としての特質の理解	三井
6	政治経済の意義	政治経済の内容と教科としての特質の理解	三井
7	学習指導案の書き方	単元、教育目標、本時の展開、評価などの理解	三井
8	学習指導案の書き方	授業シナリオとしての指導案への理解	三井
9	教材研究の方法	教材研究の意味の理解	三井
10	教材研究の方法	教材研究の方法の理解	三井
11	授業方法	導入の仕方、授業テーマの設定、進め方などの理解	三井
12	授業方法	板書、机間巡視、発声、発問の仕方などの理解	三井
13	授業方法	課題解決、考える授業などの工夫の仕方	三井
14	授業方法	授業全般に対する留意事項の確認	三井
15	前期のまとめ	公民科教育の意義・授業方法の確認	三井
16	設計の方法	模擬授業に向けての授業設計の考え方の理解	村田
17	設計の方法	「倫理」「公共」「政治・経済」の授業方法、授業設計の考え方の理解	村田
18	設計の方法	「倫理」「公共」「政治・経済」の授業方法、授業設計の考え方の理解	村田
19	授業の構造化	年間指導計画、単元の指導と評価の計画及び1単位時間の学習指導案の作成方法の理解	村田
20	授業の構造化	生徒の認識や思考、学力などの向上に向けた「課題解決学習」や「主体的・対話的で深い学び」の実現のための授業の手法等の理解	村田
21	授業の構造化	思考ツール(二次元表、座標軸、ウェブマッピングなど)の活用を元にした指導過程の理解	村田
22	授業の構造化	パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価等の理解	村田
23	模擬授業の実施	「政治・経済」の模擬授業(個別での授業)の実施・自己評価・相互評価・総括講評	村田

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
24	模擬授業の実施	「政治・経済」の模擬授業（個別での授業）の実施・自己評価・相互評価・総括講評	村田
25	模擬授業の実施	「倫理」の模擬授業（個別での授業）の実施・自己評価・相互評価・総括講評	村田
26	模擬授業の実施	「倫理」の模擬授業（個別での授業）の実施・自己評価・相互評価・総括講評	村田
27	模擬授業の振り返り	総括的講評による振り返りとルーブリック評価の理解	村田
28	教科横断的学習等の理解	法教育、シチズンシップ教育、消費者教育、環境教育（ESD教育）、キャリア教育、道徳教育、総合的な学習の時間等との積極的連携の進め方の理解	村田
29	公民科新科目「公共」の理解	「公共」の理念、目標、指導内容と授業方法の理解	村田
30	教材研究の進め方	授業設計に当たっての「教材研究」「授業研究」の重要性の理解と具体的研究方法の進め方の理解	村田

#### 【授業実施形態】

##### 面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

<前期> 指導案の作成とその評価、発表の評価 50%

<後期> 模擬授業の評価15%、模擬授業総括協議の評価10%、レポートの評価25%

#### 【教科書】

「高等学校学習指導要領解説 公民編」（教育出版）

高等学校「新倫理 改訂版」（清水書院）

「現代政治・経済 改訂版」（清水書院）

「新訂第2版 倫理資料集 ソフィエ」 清水書院

「2021年版 政治・経済資料集」清水書院

#### 【学修の準備】

<前期>

- ・「高等学校学習指導要領」を事前に読むこと
- ・教育問題を自分なりにとらえ、問題意識をもつ
- ・社会事象への眼を向け、自分の関心を引き出す
- ・授業案を書くため、それぞれの教科を復習、自己学習する
- ・教材研究を行う（テーマづくり）、教材研究ノートをつくる
- ・板書ノートをつくる
- ・板書の練習

<後期>

- ・模擬授業に使用する指導内容、使用教材等の選定をする
- ・模擬授業で活用する思考ツールや学習方法等の準備をする
- ・レポート作成のための参考図書や教材の準備をする

#### 【免許法施行規則に定める科目区分等】

「教職に関する科目」（教育課程及び指導法に関する科目）

・各教科の指導法

2019年度の入学生より「教科及び教科の指導法に関する科目」の「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」に該当する。

#### 【実務経験】

村田尋如（高等学校公民科教員、教育委員会指導主事・管理職等）、三井貴之（高等学校教諭）

#### 【実務経験を活かした教育内容】

（前期）

高等学校教諭としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。

（後期）

・道内の高等学校での公民科教員としての実務経験を活かし、実践的公民科教育法の講義を行う。

- ・北海道教育委員会の指導主事、高校管理職等としての実務経験を通して得た知見・指導技術等を活かし実践的な教育を行う。